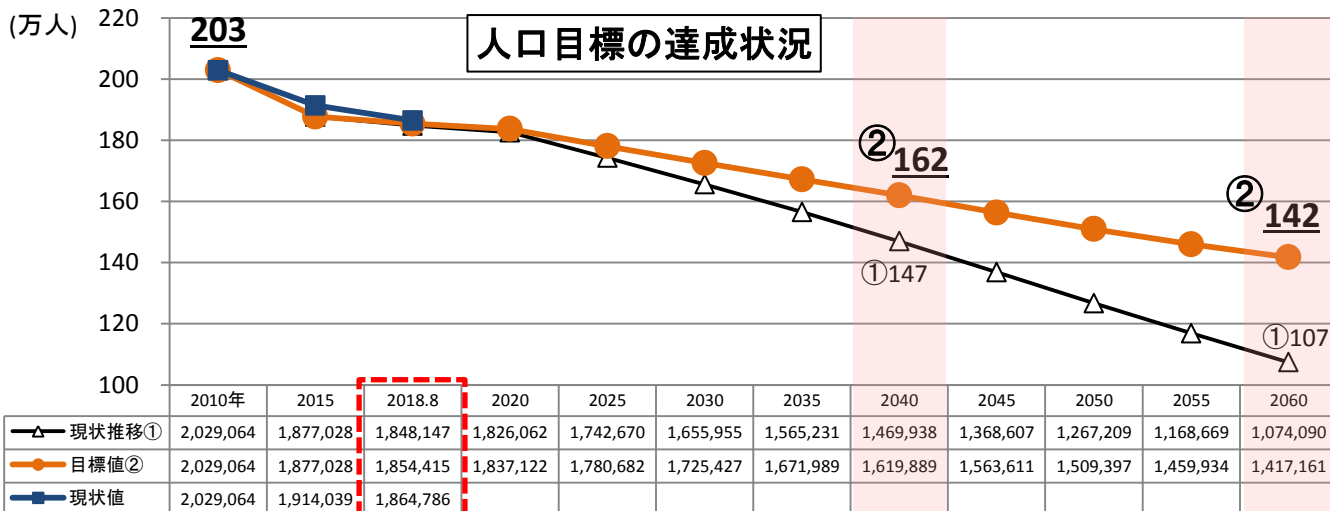


# 福島県人口ビジョン(平成27年11月策定)に関する動向

## 福島県の将来人口推計及び現状

更新



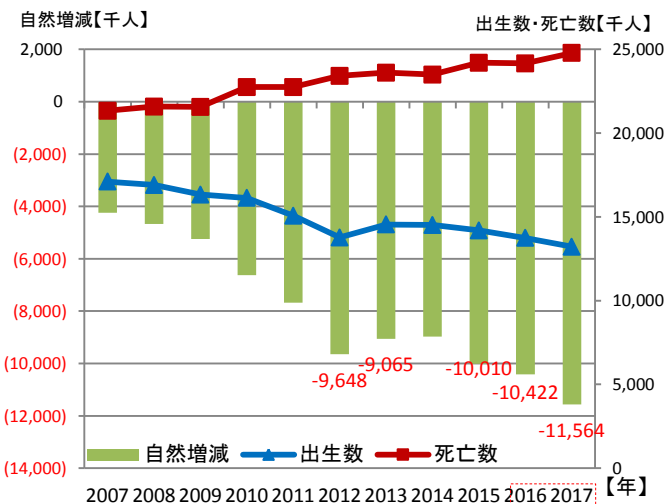
※現状推移・目標値は10月1日時点  
 ※現状推移・目標値は5年ごとの推計なので、2018年8月は2015年と2020年の差を均等に割り振って算出したもの。  
 ※実測値は2015年までは10月1日時点、2018年は8月1日時点のもの。福島県の推計人口(統計課)※外国人を含む

- 目標：2040年に人口160万人の確保
- 現状：2018年8月までにおいて、目標値を上回り推移。

### 1.人口動態(自然動態)

更新

#### ①福島県の自然増減の推移



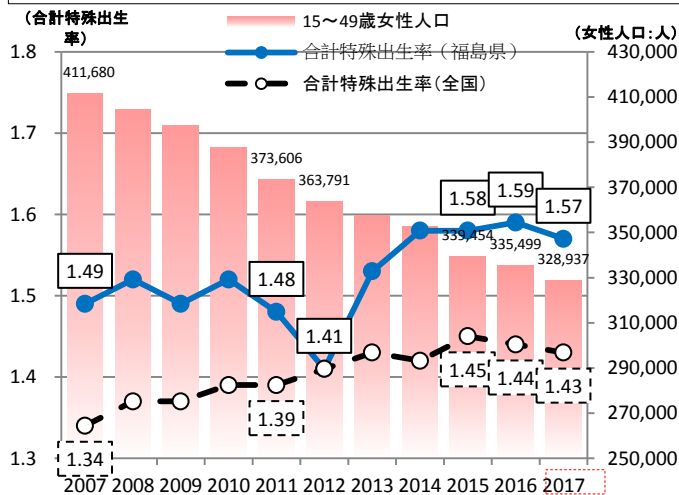
出典：厚生労働省「人口動態調査」(外国人は含まない)  
 ※2017年のデータは概数

○2013年から自然減数が縮小傾向にあったが、2015年以降は自然減数が拡大し、自然減による減少数は1万人を超えた。

### 1.人口動態(自然動態)

更新

#### ②合計特殊出生率と15～49歳女性人口の推移

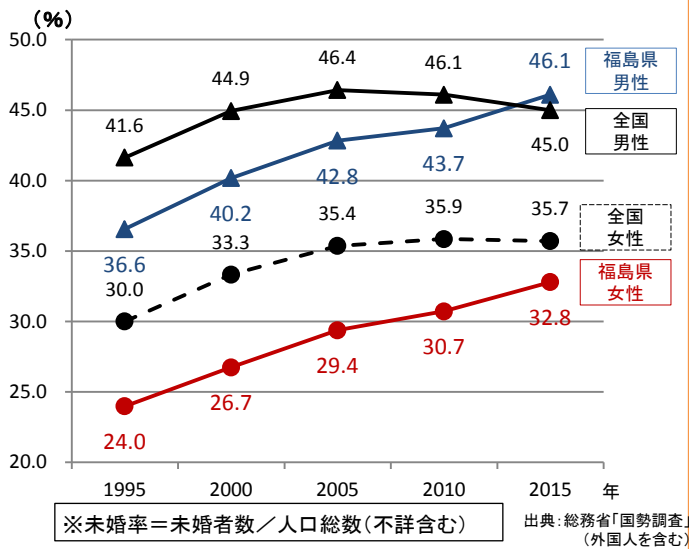


出典：厚生労働省「人口動態調査」、総務省「国勢調査」、福島県統計課「福島県の人口」(外国人は含まない)  
 ※合計特殊出生率は概数 (外国人を含む) (外国人を含む)

○本県における合計特殊出生率は2013年以降増加していたが、2017年は1.57と減少した。  
 ○一方で、15～49歳女性人口は減少傾向が続いている。

# 1.人口動態(自然動態)

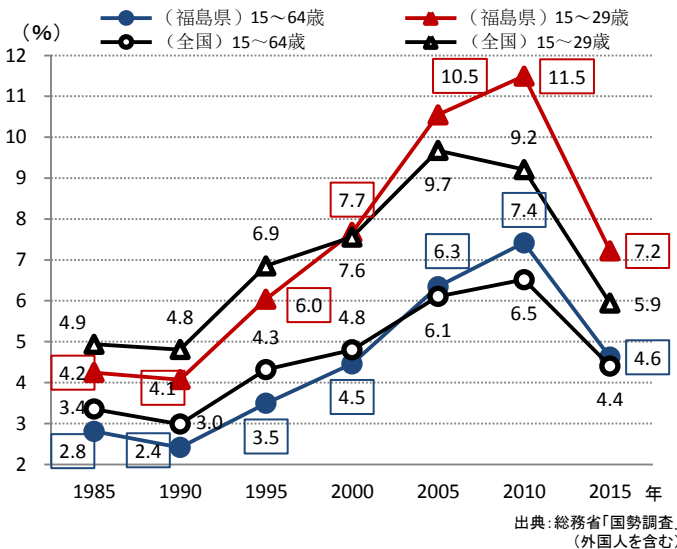
## ③未婚率の推移(20~40歳の男女)



○ 未婚率は全国的には男性は減少傾向、女性は横ばいであるが、本県では男女ともに増加傾向にある。  
 ○ 本県の男性の未婚率は、2015年に全国を上回った。

# 1.人口動態(自然動態)

## ④労働力人口に対する完全失業者の割合

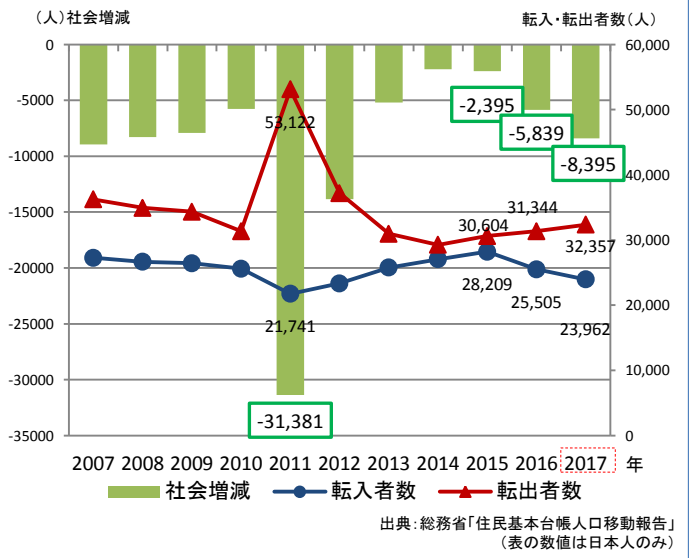


○ 本県では完全失業者の割合は2010年まで上昇傾向にあったが、2015年に大きく減少した。  
 ○ 本県における若者(15~29歳)の完全失業者の割合は、全国と比較して高い。

# 2.人口動態(社会動態)

更新

## ①福島県の社会増減の推移

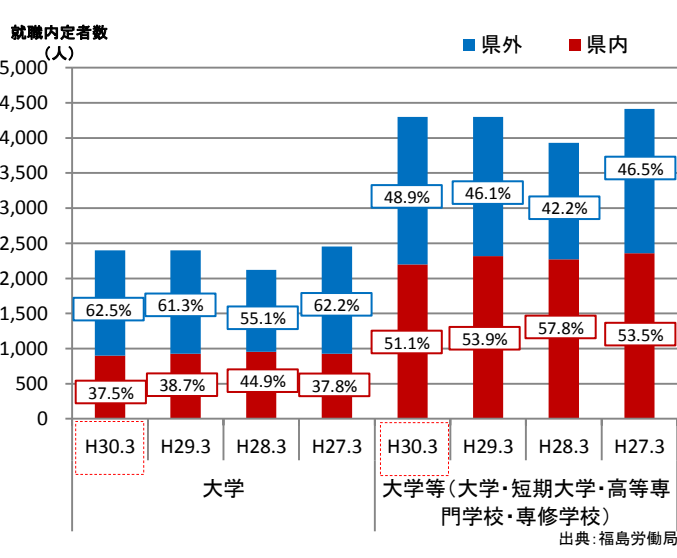


○ 社会減数は2012年以降、縮小傾向にあったが、2015年以降は増加している。  
 ○ 転入者は2015年から減少に転じている。

# 2.人口動態(社会動態)

更新

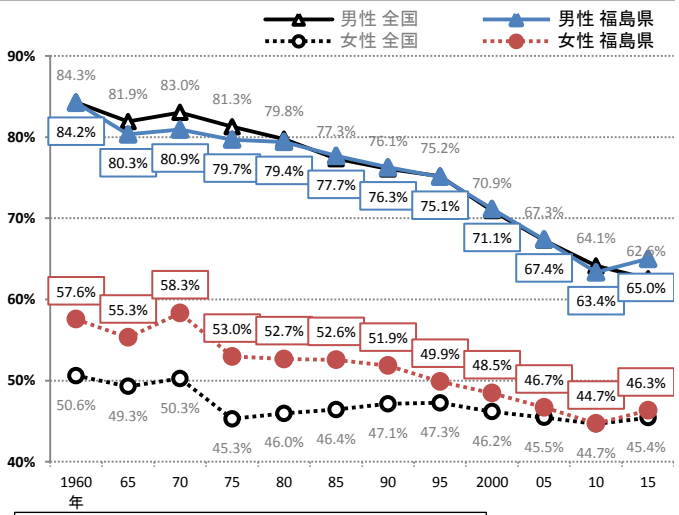
## ②県内大学等卒業者の就職内定状況



○ 平成30年3月の県内大学等卒業者の就職内定状況のうち、県内への就職割合は平成27年3月以降最も低い値となっている。

### 3.産業・就業者の状況

①全国と福島県の男女別就業率の推移



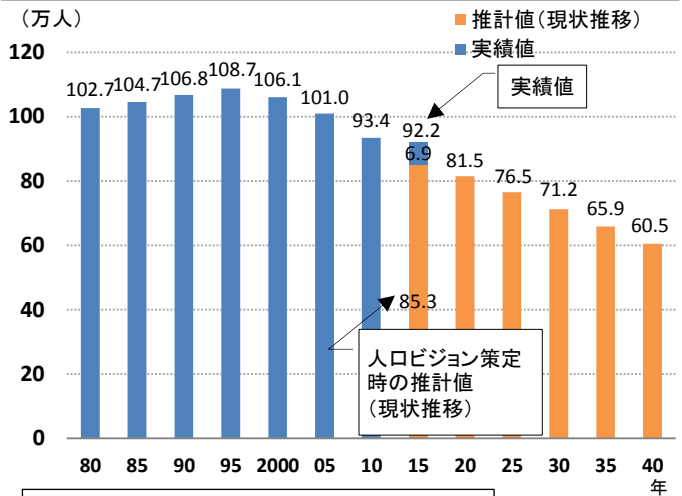
〔就業率〕・・・15歳以上人口に占める就業者の割合。

出典：総務省「国勢調査」(外国人を含む)

○ 人口構造の変化(少子高齢化の進行等)により、全国的に就業率は低下傾向にあるが、本県では、2015年に上昇に転じた。

### 3.産業・就業者の状況

②本県の就業者数の推移



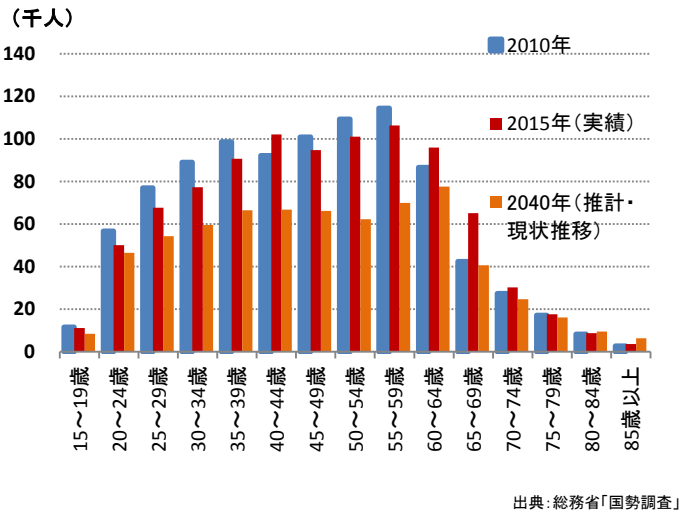
〔就業者〕・・・15歳以上人口のうち、家事・学業等を除いたもの(労働力人口)のうち、完全失業者を除いたもの。(休業者を含む)

出典：総務省「国勢調査」

○ 本県における2015年の就業者数は92万2千人で、「人口ビジョン」による推計値よりも6.9万人上回った。

### 3.産業・就業者の状況

③本県の就業者の年齢構成(2010・2015・2040年)

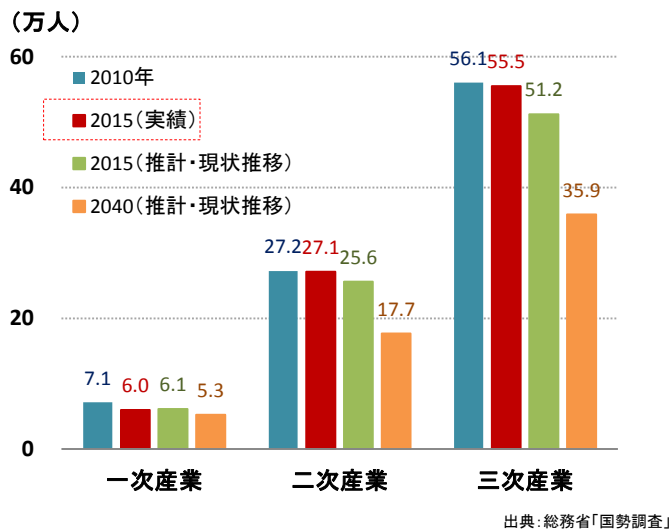


出典：総務省「国勢調査」

○ 本県における2015年の就業者数は、2010年と比べ40~44歳及び60~74歳を除き減少している。  
○ 今後、20~59歳の年齢層においてさらなる就業者数の減少が見込まれる。

### 3.産業・就業者の状況

④本県の産業別の就業者数(2010・2015・2040年)



出典：総務省「国勢調査」

○ 本県における2015年の産業別就業者数は、一次産業を除き「人口ビジョン」による推計値を上回った。